

令和 6 年 5 月 21 日現在

機関番号：12102

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2018～2022

課題番号：18H05445

研究課題名（和文）古代西アジアにおける都市の景観と機能

研究課題名（英文）Urban landscape and functions of cities in the ancient West Asia

研究代表者

山田 重郎（Yamada, Shigeo）

筑波大学・人文社会系・教授

研究者番号：30323223

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 98,500,000円

研究成果の概要（和文）：初期王朝時代ラガシュの供物祭儀、古バビロニア時代と中アッシリア時代タバトゥム/タバトゥ市の都市景観と行政、中バビロニア時代エマル市の行政、新アッシリア時代のアッシュル、カルフ、ドゥル・シャルキン、ニネヴェの都市プランと祭儀伝統、アルサケス朝時代のバビロン社会など、前3千年紀から紀元前後までの諸都市に関する楔形文字文書の研究により、メソポタミア都市の景観と構造を通時的に研究する試みが進展した。

ヤシン・テペ（イラク・クルド自治区）の発掘により、新アッシリア時代の有力者に属する大型建物、未盗掘墓、水路跡などが発見され、アッシリア帝国の地方拠点都市の構造と景観について注目すべき新資料が得られた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

前3千年紀から紀元前後までの西アジア諸都市に由来する楔形文字資料を分析することで、メソポタミアとシリアの諸都市における都市プラン、都市景観、行政、社会構造、祭儀伝統を研究し、その多様性、歴史的変遷を通時的に把握することができた。

また、イラク・クルド自治区のヤシン・テペ発掘調査においては、新アッシリア時代の大型建物、未盗掘墓とその副葬品、運河とみられる水路跡など注目すべき発見があり、これに関連する西アジアの遺構や考古遺物との比較考察し、楔形文字文書史料と突き合わせて分析することで、アッシリア帝国の地方行政、建築様式、宗教文化、物質文化の広がりについて新たな知見がもたらされた。

研究成果の概要（英文）：The following themes were investigated: Sacrificial rituals at Lagash in the Early Dynastic period; city landscape and administration of Tabatum/Tabetu in the Old Babylonian and Middle Assyrian periods; administration at the city of Emar in the Middle Babylonian period; city plans and ritual traditions at Assur, Kalhu, Dur-Sharrukin, and Nineveh in the Neo-Assyrian period; the society of Babylon in the Arsacid period. These investigations were made especially based on cuneiform sources, and revealed aspects of the development and variations in the landscape and social structure of Mesopotamian cities through the ages.

The excavations at Yasin Tepe in Iraqi Kurdistan were conducted, and they uncovered important structures and materials, such as large buildings, an undisturbed tomb, and remains of water courses. Thus, they clarified the structure and landscape of the principal provincial city of the Assyrian Empire.

研究分野：アッシリア学（楔形文字学）

キーワード：古代メソポタミア 楔形文字学 西アジア考古学 都市

1. 研究開始当初の背景

大型公共建築物と城壁を持ち、種々の職業に従事する多くの人々が一定のヒエラルキーのもとに統合され、ダイナミックに活動する複雑社会としての都市は、紀元前4千年紀に南メソポタミア（現イラク南部）で人類史上はじめて成立した。その後、前3～2千年紀にはこの都市社会という生活様式が西アジアの広域に拡散して各地に都市が成立し、都市を中心に地域の在り方が決定づけられる政治的・社会的・経済的・文化的構造が西アジア全域に形成された。

古代西アジア世界は、都市主導型の文明が地球上のどこよりも早く発生し、高度に発達した地域である。その豊富な考古学的資料と保存性の高い媒体（粘土板）に書かれた多くの文字史料は、都市文明の発生と古代における変容に関して、類まれな大量のデータを提供する。この西アジアの都市の景観と社会的・文化的諸相を、時代の変遷と地域ごとの多様性、都市機能の多面性に注目しながら、体系的に明らかにすることが必要とされるが、当時の都市の景観や社会的機能を体系的に文献学と考古学の協働により理解する努力は十分に行われてきていない。

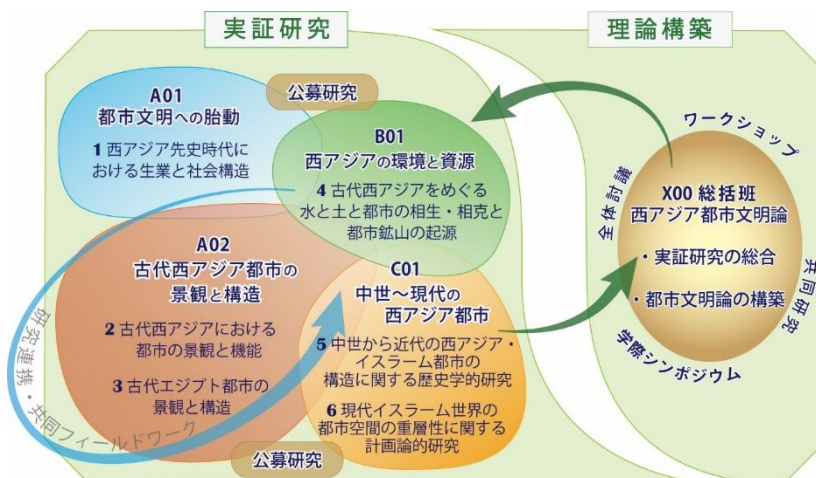
古代西アジア都市に関する本格的な研究の開始は、西アジア各地で古代都市の遺跡が発掘され始めた19世紀にさかのぼるが、「民主的都市」としての古代ギリシアのポリスと対比して、古代西アジア都市を絶対権力者に所有される「専制的オリент都市」にすぎないとする傾向的な評価が欧米で克服されるまでに一世紀を要した。しかし20世紀の半ばくらいまでには、西アジアの多くの遺跡とその周辺で、市民セクターを含む都市景観全体が調査・考察され、都市遺跡に由来する文書史料から都市社会に関する種々のデータがもたらされた。これに連動して、古代西アジア都市を固有の価値ある課題として研究し、「都市」の定義と都市形態の多様性を真剣に考えようとする機運が育まれた。西アジア都市の考古学的定義を試みたGordon Childe、資本主義的原理の外で働くモノと交換・分配のメカニズムを西アジア都市に適用したKarl Polanyi、灌漑作業と都市権力生成の因果関係を論じたKarl Wittfogelらの先鋭的な議論をへて、1958年には、シカゴ大学東洋学研究所の主催で「古代西アジアの都市化と文化的発達」をテーマに考古学と楔形文字学（アッシリア学）の研究者を集めたシンポジウムが開催され、この問題が包括的に論じられた。その後、R. M. Adamsによるメソポタミアの都市とその周辺の環境ならびに土地利用の考古地理学的研究（1981年）、歴史時代の西アジアの都市化の諸相を楔形文字文書研究者の視点から論じたM. Van de Mieropの著作（1997年）が現れ、古代西アジア都市の継続と変遷をテーマにしたドイツ・オリент学会主催のシンポジウムも行われて（1997年）、このテーマに取り組む動きは継続されてきた。そうしたなか、航空写真や衛星画像から得られるデータをフィールドワークの成果と総合して都市とその周辺の古環境を復元する景観考古学的分析を導入したT. Wilkinsonの画期的研究が現れ（2004年）、古代西アジアの特定の時代や地域について都市景観や土地利用を分析する研究が複数行われるようになってきた。

こうした研究史は、(1)都市とその周辺の環境と土地利用の考古地理的研究の活性化、ならびに(2)都市社会の政治的・経済的・文化的諸機能を考古学と文献学を組み合わせる包括的に把握しようとする試み、という2つの傾向に集約される。こうした考古学的研究の多様化と文献学的・歴史学的研究の進展を受け、古代西アジア都市の総合的理解を試みるに期は熟してきた。

2. 研究の目的

本計画研究が含まれる新学術領域研究「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」は、先史時代から現代に至る西アジア都市の景観と社会的諸相を俯瞰しながら、「西アジア都市とは何か」を解明することを目標に掲げるが、古代西アジア都市の景観と機能の解明を課題とする本計画研究（領域A02 計画研究2）は、時空間的にもテーマ的にもその中心に位置する。

本計画研究は、前3千年紀から後3世紀（パルティア時代）までの西アジア都市の諸相を文献学と考古学の協働により解明する。この枠組みの中で、様々な時代、地域、テーマについて研究実績を持つ専門家を糾合し、以下にあげるような特定の時空間やテーマに関する調査や研究を通じて新たな事実を掘り起こすべく研究活動を実施する。特にメソポタミア



とその周辺地域を重視して研究を進めながら、西アジア都市の変容とその歴史的プロセス、都市の景観と機能の多様性を、地域的な広がりを踏まえながら通時的に分析・把握することを目標とする。特に以下の諸点に注目して研究を実施する。

(1)都市景観：衛星画像分析やフィールドワークによって確認される各地の都市とその周辺の考古地理的データを整理する。文書史料に見られる都市の諸要素(城壁、城門、上の町、下の町、水路、耕地、池、牧草地、道路など)についての記述を収集・整理し、考古地理的データとすり合わせ、各地域・時代の都市景観を分析する。

(2)王権・神殿・市民層による政治・行政と都市の社会構造：王碑文・行政文書・契約文書・書簡等をもとに都市における王権、神殿、民会がいかに都市と国家の秩序を形成したのかを研究する。

(3)都市と産業・経済：王宮、神殿、民会、個人による生産業(農業、畜産、手工業など)、交易・商業、不動産・食糧・銀・労働資源の貸付・売買、課税と貢納についての詳細を、行政文書、書簡、王碑文、考古学資料により研究し、経済・産業に都市が果たした役割を明らかにする。

(4)宗教と知的活動のセンターとしての都市：ニネヴェのアッシュルバニパル図書館等、主要都市の王宮・神殿や個人宅において収集・保存され「知の伝統」として伝承された文書(宗教文学文書、科学文書、歴史文書、辞書など)を通して、都市が学知の形成と伝承に果たした役割を研究する。

(5)都市ネットワーク：特に、アッシリア帝国期(前8~7世紀)に発達した行政州分割、交通路、都市ネットワークを王碑文・書簡・行政文書から分析する。

(6)新アッシリア帝国の地方都市の考古学的調査と歴史研究：アッシリア帝国の東方の行政拠点の一つであるヤシン・テペ遺跡(現在、中部大学等が発掘中)の調査を継続し、その都市景観と機能を考古学的に考察し、関連の楔形文字文書史料と共に分析する。

3. 研究の方法

上記の6つの課題について通時的視点を担保しながら包括的に研究するため、都市の歴史的盛衰の実相、史資料の分布、ならびに参加者の研究実績にも配慮して、時代と研究テーマに即して以下の5つの研究班を組織して研究を実施した。

(1)「シュメル都市研究班」：初期王朝時代からウル第3王朝時代(前2500~2000年頃)の南メソポタミアのシュメル都市、ラガシュ、ウンマ、ウルの行政文書の分析に重点を置き、考古学的データにも配慮しながら、各都市の王宮・神殿に関連する行政と産業(農業・漁労・手工業など)、ならびに社会構造と都市景観を研究する。

(2)「古・中バビロニア時代研究班」：古・中バビロニア時代(前1900~1200年頃)の諸都市に由来する各種楔形文字文書史料のデータ、特にシリア中央部のエマル、ユーフラテス中流域のマリ、バビロニアのシッパル、ラルサ、ウル等に注目し、都市景観、王権・神殿・民会の社会的・行政的関係を考古学データとも比較しながら研究する。

(3)「中・新アッシリア時代研究班」：当該期(前1500~600年頃)について、特にアッシュル、カルフ、ドウル・シャルキン、ニネヴェといったアッシリアの王都、ならびに、考古学的・文献学的に豊富なデータがある上部メソポタミアのテル・シェイフ・ハマド、日本隊が調査し大量の粘土板文書が出土したテル・タバンの諸都市(遺跡)に関連する文書史料、考古学的資料を分析し、広域国家アッシリアの領域において種々の行政的・文化的役割を担った諸都市の景観と機能を研究する。

(4)「新・後期バビロニア時代研究班」：新バビロニア・アケメネス朝・セレウコス朝・アルサケス朝(前6~後3世紀頃まで)のメソポタミア諸都市の景観、政治・行政・社会を諸都市(バビロン、シッパル、ボルシッパ、ニップル、ウルク等)に由来するアッカド語とシュメル語の文書(行政文書、契約文書、祭儀文書、天文日誌、地誌書、年代誌)、各種アラム語文書ならびに考古学的データに照らして分析する。特に、古代メソポタミアの「楔形文字文明」の末期となるヘレニズム期を画期にして起きた諸都市の勃興と変容の諸相に関して、同文明終焉後の古代末期の状況と比較しながら考察する。

(5)「ヤシン・テペ遺跡調査・研究班」：平成27年から筑波大学と中部大学が実施してきたイラク・クルド地区・スレイマニア県の大規模遺跡ヤシン・テペにおいて新アッシリア時代の都市遺構(大型建築物)が検出され、本遺跡がアッシリアの東方支配の拠点であった都市ドウル・アッシュル(Dur-Aššur)と比定される可能性が浮上している。この発掘事業を継続し、帝国辺

境における行政拠点の景観と機能を考古学的に解明するとともに、周辺地域の踏査や関連文書史料の分析を通して、アッシリア辺境の行政にこの都市が果たした役割を明らかにする。

4. 研究成果

(1) 文献学分野では、特に、初期王朝時代のラガシュ出土文書にみる供物祭儀の実態、古バビロニア時代タバトゥム市の都市景観、中アッシリア時代タベトゥ市の行政、中バビロニア時代エマル市の行政にみる隣国ヒッタイトの影響、新アッシリア時代の行政首都アッシュル、カルフ、ドゥル・シャルキン、ニネヴェの都市プランとこれらの都市における祭儀伝統の更新と創造、新バビロニア時代のバビロンの街路の構造、アルサケス朝時代のバビロンにおけるギリシア系住民と「長老会」の関係など、前3千年紀から紀元後3世紀までのメソポタミア都市の景観、社会、行政、儀礼に関する楔形文字分野での論文がまとめられ、公刊された。また、計画研究の研究会を通じてこれらの研究がメンバーである研究者間に共有され、メソポタミア都市の景観と構造を通時的に研究する試みが進展した。

(2) 考古学分野では、特にイラク・クルド自治区スレイマニア県のヤシン・テベ遺跡の発掘と遺物研究、ならびにシリア北東部ハッサケ県のテル・タバンの遺跡で検出された建築遺構の研究が以下のような成果を上げた。

ヤシン・テベ遺跡で実施された発掘によって発見された新アッシリア時代の有力者に属する大型建物と未盗掘墓は、イラク北部ティグリス川中流域のアッシュル市などアッシリア帝国の中心地域にみられるものと同タイプのものであり、この遺跡が新アッシリア帝国の東方辺境の拠点であったことが決定的な形で証明された。また、楔形文字のナブー神に男子を捧げる旨を記した銘文の刻まれた青銅製のネックレスを含む多くの金属製品や人骨が発見された。これらの遺物の分析は、アッシリアの影響下にあった当該地域の社会的・文化的特徴のさらなる解明につながるものと思われる。さらに、運河として用いられたとみられる水路跡も発見され、周囲に豊富な水量を持つ水源（泉）がある環境で、市内に運河を設けた都市交通路が整備されていた痕跡をうかがわせるなど、当該地域の拠点都市の構造と景観についても注目すべき新資料が得られた。

テル・タバンの遺構では、特に中期アッシリア時代の土壌墓とその出土品（遺骨、金属製品、石器、土器など）ならびに排水・貯水設備、新アッシリア時代の土器窯などが研究され、市域内の都市施設の一端が明らかにされた。

こうした考古学調査による成果は、都市の物理構造や装置を明らかにするばかりではなく、同時代の当該地域についてのデータを含む楔形文字文書史料の分析と照らし合わせることで、その歴史的脈絡のより厳密な推定を可能にしており、地域大国であるアッシリア帝国と地域社会の行政的・社会的・文化的関係が詳細に分析された。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計84件（うち査読付論文 31件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 Yamada Shigeo	4. 巻 1
2. 論文標題 To Be Assyrian Residents: A reflection on the integration of the subjugated people into the Assyrian Empire	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Neo-Assyrian King as a nodal point of Neo-Assyrian Identity, Kasion 8	6. 最初と最後の頁 273 ~ 294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田重郎	4. 巻 5
2. 論文標題 研究ノート：アッシリアの新首都カルフの独自性・新規性について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 63 ~ 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiyama Shin'ichi, Yamada Shigeo	4. 巻 113
2. 論文標題 Nabu at the Frontiers of the Assyrian Empire: An Inscribed Bronze Necklet from Yasin Tepe, Iraqi Kurdistan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Zeitschrift fuer Assyriologie und vorderasiatische Archaeologie	6. 最初と最後の頁 250 ~ 265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/za-2023-0015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Shigeo	4. 巻 9
2. 論文標題 The Shulgi Prophecy in the Kassite and Neo-Assyrian Periods: A Consideration of the Original Composition and its Later Reception	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Melammu Workshops and Monographs	6. 最初と最後の頁 407 ~ 434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Daisuke	4. 巻 74
2. 論文標題 The Assyrian King of the Broken Obelisk, the Date of the Archive from Giricano, and the Timing of the Assyrian Calendar Reform	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Cuneiform Studies	6. 最初と最後の頁 109 ~ 129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Daisuke	4. 巻 1
2. 論文標題 The building enterprises of Assur-ketta-lesir II, king of the land of Mari, and the conflict with the Arameans during the reign of Tiglath-pileser I, king of Assyria	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Kullat tupsarruti	6. 最初と最後の頁 567 ~ 597
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 5
2. 論文標題 古代メソポタミア都市の伝統と景観に関する覚書2: アッシュルナツィルパル二世による新都カルフの祭儀政策	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 75 ~ 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 1
2. 論文標題 古代メソポタミアにおける神々・王・市民	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 岩波講座世界歴史第2巻 古代西アジアとギリシア ~前1世紀	6. 最初と最後の頁 99 ~ 118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 唐橋文	4. 巻 1
2. 論文標題 シュメール都市国家における王権と祭儀	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 古代西アジアとギリシア ~前一世紀	6. 最初と最後の頁 183 ~ 197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Garcia-Ventura Agnes, Karahashi Fumi	4. 巻 1
2. 論文標題 Socio-Economic Aspects and Agency of Female Mas-da-ri-a Contributors in Presargonic Lagash	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Women and Religion in the Ancient Near East and Asia	6. 最初と最後の頁 23 ~ 44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/9781501514821-003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Alibaigi Sajjad, Rezaei Iraj, Moradi Farhad, Haruta Seiro, MacGinnis John, Aminikhah Naser, Khosravi Shokouh	4. 巻 127
2. 論文標題 Daya Cave: A Place of Worship of Mesopotamian and Persian Gods in the West Central Zagros Mountains, Iran	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 American Journal of Archaeology	6. 最初と最後の頁 419 ~ 435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1086/724659	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 西山伸一・山田重郎・沼本宏俊・S. ジャミール・R. カリーム・H. アブドゥッラー	4. 巻 1
2. 論文標題 アッシリア帝国東部境界を掘る イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト：第6次調査(2022年) -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 第30回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 113 ~ 118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 55
2. 論文標題 Names of Walls, Gates, and Palatial Structures of Assyrian Royal Cities: Contents, Styles, and Ideology	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 87 ~ 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Shibata, Shigeo Yamada	4. 巻 1
2. 論文標題 Calendars of the Land of Hana and the Middle Assyrian Land of Mari in the Second Millennium BC	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 D. Shibata and S. Yamada (eds.), Calendars and Festivals in Mesopotamia in the Third and Second Millennia BC	6. 最初と最後の頁 165 ~ 199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Shigeo	4. 巻 84
2. 論文標題 Review of: Chen Fei, Study on the Synchronistic King List from Ashur. (Cuneiform Monographs 51.) xviii, 249 pp. Leiden and Boston: Brill, 2020. ISBN 978 90 04 43091 4 hardback, 978 90 04 43092 1, ebook.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bulletin of the School of Oriental and African Studies	6. 最初と最後の頁 565 ~ 567
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0041977X22000064	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 春田晴郎	4. 巻 3
2. 論文標題 西アジアの古代都市	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 岩波講座 世界歴史	6. 最初と最後の頁 163 ~ 184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 唐橋文	4. 巻 1
2. 論文標題 シュメール初期王朝時代ラガシュのエ・ミと園丁たち	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 松本悠子・三浦麻美編著『歴史の中の個と共同体』	6. 最初と最後の頁 283～310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hogue Timothy	4. 巻 10
2. 論文標題 With Apologies to Hazael: The Counter-monumentality of the Tel Dan Stele	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hebrew Bible and Ancient Israel	6. 最初と最後の頁 243～256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1628/hebai-2021-0015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hogue Timothy	4. 巻 31
2. 論文標題 Thinking Through Monuments: Levantine Monuments as Technologies of Community-Scale Motivated Social Cognition	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cambridge Archaeological Journal	6. 最初と最後の頁 401～417
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0959774321000020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoko Watai	4. 巻 5
2. 論文標題 An Administrative Text from the Neo-Babylonian Period found in the Collection of the Hirayama Ikuo Silk Road Museum	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archiv fuer Orientforschung	6. 最初と最後の頁 406～412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masamichi Yamada	4. 巻 1
2. 論文標題 The zukru Cycle in the Light of the Planting Riotes in Emar	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 D. Shibata and S. Yamada (eds.), Calendars and Festivals in Mesopotamia in the Third and Second Millennia BC	6. 最初と最後の頁 215 ~ 229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuyuki Mitsuma	4. 巻 10
2. 論文標題 General (Who is) above the Four Generals' in the Seleucid and Arsacid Periods	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Anabasis: Studia classica et orientalia	6. 最初と最後の頁 27 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三津間康幸	4. 巻 3
2. 論文標題 ローマ帝国と対峙した西アジア国家	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 岩波講座世界歴史	6. 最初と最後の頁 109 ~ 132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一・H. アブドゥッラー・山田重郎・沼本宏俊	4. 巻 1
2. 論文標題 アッシリア帝国東部辺境を掘る イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト・2021年度の成果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 43 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一	4. 巻 4
2. 論文標題 アッシリアと水：都市、水、景観に関するヤシン・テベからの視点	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 4 研究成果報告2021年度	6. 最初と最後の頁 85～96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 沼本宏俊	4. 巻 4
2. 論文標題 シリア、テル・タバム出土、新アッシリアの土器窯	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 4 研究成果報告2021年度	6. 最初と最後の頁 71～83
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Shigeo	4. 巻 8
2. 論文標題 The conquest and reorganization of the land of Zamua / Mazamua in the Assyrian Empire	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studia Chaburensia	6. 最初と最後の頁 167～193
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.13173/9783347114776_167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 3
2. 論文標題 前11・10世紀におけるアッシリア王国の衰退	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 3 研究成果報告 2020年度	6. 最初と最後の頁 87～94
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 -
2. 論文標題 古代メソポタミアの一神教	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 一神教世界の中のユダヤ教 市川裕先生献呈論文集	6. 最初と最後の頁 31～56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Konstantopoulos Gina	4. 巻 35-2
2. 論文標題 The Bitter Sea and the Waters of Death: the Sea as a Conceptual Border in Mesopotamia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Ancient Civilizations	6. 最初と最後の頁 171～198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Konstantopoulos Gina	4. 巻 14-10
2. 論文標題 Demons and Exorcism in Mesopotamia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Religion Compass	6. 最初と最後の頁 1～14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Konstantopoulos Gina	4. 巻 -
2. 論文標題 Looking for Glinda: Wise Women and Benevolent Magic in Old Babylonian Literary Texts	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cult Practices in Ancient Literatures: Egyptian, Near Eastern and Graeco-Roman Narratives in a Cross-Cultural Perspective	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沼本宏俊	4. 巻 3
2. 論文標題 シリア、テル・タバン出土、鉄剣服装の中期アッシリア土墳墓	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文部科学賞科学研究費補助金新学術領域研究 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究3 研究成果報告2020年度	6. 最初と最後の頁 49～61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiyama Shin'ichi	4. 巻 8
2. 論文標題 Provincial control in the eastern reaches of the Assyrian Empire	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studia Chaburensia	6. 最初と最後の頁 45～72
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.13173/9783347114776_45	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一・J. Abdul Massih	4. 巻 -
2. 論文標題 レヴァント回廊の歴史を探る 第6次（2020年）・フェニキアの港バトルーン遺跡の試掘調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 第28回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 41～46
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一・H. Hama Abdullah・山田重郎・沼本宏俊	4. 巻 -
2. 論文標題 アッシリア帝国東部辺境を掘る イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト・2020年の進展	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 第28回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 20～25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watai Yoko	4. 巻 8
2. 論文標題 The monuments of the Neo-Babylonian kings as an indication for their presence in the western territories of their empire	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studia Chaburensia	6. 最初と最後の頁 171 ~ 187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.13173/9783347114776	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡井葉子	4. 巻 3
2. 論文標題 紀元前1千年紀バビロニアの都市の景観と社会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 (研究成果報告2020年度)	6. 最初と最後の頁 101 ~ 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田雅道	4. 巻 3
2. 論文標題 エマル文書における『主』とは誰か	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究3：研究成果報告2020年度	6. 最初と最後の頁 69 ~ 86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三津間康幸	4. 巻 4
2. 論文標題 中島敦「文字禍」の年代設定過程解明	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東方キリスト教世界研究	6. 最初と最後の頁 89 ~ 107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Neo-Assyrian Trading Posts on the East Mediterranean Coast and "Ionians": An Aspect of Assyro-Greek Contact	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa	6. 最初と最後の頁 221 ~ 235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 sal(a)hum in the Old Babylonian Letters and the Urban Landscape of Upper Mesopotamia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sur l'art, sur l'histoire et sur la vie: ecrits, notes et pensees offerts a Olivier Rouault	6. 最初と最後の頁 38 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Sim'alites at Tabatum and the Origin of the Kingdom of the 'Land of Hana'	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 De l'argile au numerique: Melanges assyriologiques en l'honneur de Dominique Charpin	6. 最初と最後の頁 1189 ~ 1207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 29
2. 論文標題 Chronographic Styles and the Sense of Chronology in the Neo-Assyrian Royal Inscriptions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Writing Neo-Assyrian History: Sources, problems and approaches, SAAS 29	6. 最初と最後の頁 161 ~ 181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 55
2. 論文標題 Names of Walls, Gates, and Palatial Structures of Assyrian Royal Cities: Contents, Styles, and Ideology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 87 ~ 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Shibata	4. 巻 -
2. 論文標題 Middle Assyrian Legal Documents of Adad-bel-gabbe II, King of the Land of Mari	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Beitraege zur Kenntnis und Deutung altorientalischer Archivalien: Festschrift fuer Helmut Freydank zum 80. Geburtstag	6. 最初と最後の頁 409 ~ 437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Shibata	4. 巻 -
2. 論文標題 The Gods of Tabetu during the Middle Assyrian Period and their Genealogy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 De l'argile au numerique: Melanges assyriologiques en l'honneur de Dominique Charpin	6. 最初と最後の頁 943 ~ 975
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 -
2. 論文標題 古代メソポタミアの一神教	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 市川裕先生献呈論文集	6. 最初と最後の頁 31 ~ 56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 -
2. 論文標題 古代西アジアにおける世界と魂	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 世界哲学史 1 古代 1 知恵から愛知へ	6. 最初と最後の頁 47 ~ 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Karahashi, Fumi	4. 巻 55
2. 論文標題 On the Cultic Aspect of the "Reform of Urukagina: Some Changes in the Festival of the Goddess Baba	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 63 ~ 70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lopez-Ruiz, Carolina, Fumi Karahashi, and Marcus Ziemann	4. 巻 15
2. 論文標題 The Who Saw the Deep: Achilles, Gilgamesh, and the Underworld	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 KASKAL	6. 最初と最後の頁 85 ~ 108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 唐橋文	4. 巻 -
2. 論文標題 シュメール初期王朝時代ラガシュ (ギルス) 出土のエ・ミ文書における供物奉献の祭儀	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アフロ・ユーラシア大陸の都市と社会	6. 最初と最後の頁 511 ~ 542
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shogo HARA, Gebriel Alazar, Kota SUZUKI, and Jun IKEDA	4. 巻 8
2. 論文標題 Notes on Afar Verbal Morphology	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Studies in Ethiopian Languages	6. 最初と最後の頁 1~19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuma Yasuyuki	4. 巻 83
2. 論文標題 BM 30617: An astronomical diary from the reign of Antiochus and his son Antiochus	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bulletin of the School of Oriental and African Studies	6. 最初と最後の頁 1~9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0041977X20002153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa Hisashi, Mitsuma Yasuyuki, Ebihara Yusuke, Miyake Fusa	4. 巻 884
2. 論文標題 The Earliest Candidates of Auroral Observations in Assyrian Astrological Reports: Insights on Solar Activity around 660 BCE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	6. 最初と最後の頁 1~7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/2041-8213/ab42e4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三津間 康幸	4. 巻 2
2. 論文標題 古代西アジア都市の景観と構造	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 科研費新学術領域研究: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 67~71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三津間 康幸	4. 巻 -
2. 論文標題 古代メソポタミアの占星術における「媒介するモノ」：『諸国の法の書』の「カルデア人」におけるその変容をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 宗教史学論叢23: 媒介物の宗教史	6. 最初と最後の頁 253 ~ 263
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gina Konstantopoulos	4. 巻 50
2. 論文標題 My Men Have Become Women, and My Women Men: Gender, Identity, and Cursing in Mesopotamia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Welt des Orients	6. 最初と最後の頁 358 ~ 375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gina Konstantopoulos	4. 巻 35
2. 論文標題 The Bitter Sea and the Waters of Death: the Sea as a Conceptual Border in Mesopotamia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Ancient Civilizations	6. 最初と最後の頁 171 ~ 198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gina Konstantopoulos	4. 巻 1
2. 論文標題 The Many Lives of Enheduana: Identity, Authorship, and the 'World's First Poet.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Presentation and Perception of Powerful Women in the Ancient World	6. 最初と最後の頁 57 ~ 76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masamichi Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 The 'Overseers of the Land' in the Emar Texts	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa	6. 最初と最後の頁 193~210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田雅道	4. 巻 2
2. 論文標題 エマル・エカルテ文書における財産相続用語kasadu	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 87~101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masamichi Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 The 'Sons of the King' in the Emar Tablets Belonging to the Hirayama Collection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nouvelles Assyriologiques Breves et Utilitaires	6. 最初と最後の頁 112~114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一	4. 巻 -
2. 論文標題 鉄器時代施釉土器の分布と系譜：ザグロス山系からレヴァント地方まで	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本西アジア考古学会・第24回総会・大会要旨集	6. 最初と最後の頁 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一	4. 巻 -
2. 論文標題 レヴァント回廊の歴史を探る 第5次(2019年)・フェニキアの港バトルーン遺跡の試掘調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第27回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 35～39
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一	4. 巻 -
2. 論文標題 アッシリア帝国東部辺境を掘る イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト・第4次(2019年)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第27回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 21～25
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一	4. 巻 62
2. 論文標題 考古学から見たヤシン・テベ：新アッシリア時代の拠点都市と属州支配	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 オリエント	6. 最初と最後の頁 177
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田重郎	4. 巻 26
2. 論文標題 ネブカドネザルとバビロン	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 聖書の世界	6. 最初と最後の頁 18～26
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 9
2. 論文標題 Neo-Assyrian Eponym Lists and Eponym Chronicles: Contents, stylistic variants and their historical-ideological background	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 S. Fink and R. Rollinger (eds.), Conceptualizing Past, Present and Future. Proceedings of the Ninth Symposium of the Melammu Project	6. 最初と最後の頁 75 ~ 96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirotoshi Numoto, Daisuke Shibata, Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Excavations at Tell Taban: Culture and history at Tabatum/Tabetu during the second millennium B.C	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 S. Nishiyama and J. Abdul Massih (eds.), Archaeological Explorations in Syria 2000-2011	6. 最初と最後の頁 133 ~ 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Neo-Assyrian Trading Posts on the East Mediterranean Coast and "Ionians": An Aspect of Assyro-Greek Contact	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa (Oriente, Supplimentary vol.)	6. 最初と最後の頁 221 ~ 235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Shibata	4. 巻 -
2. 論文標題 Middle Assyrian Legal Documents of Adad-bel-gabbe II, King of the Land of Mari	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Beitrage zur Kenntnis und Deutung altorientalischer Archivalien: Festschrift fur Helmut Freydank zum 80. Geburtstag	6. 最初と最後の頁 409 ~ 437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西山伸一・H. Hama Abdullah・山田重郎・沼本宏俊・常木晃	4. 巻 -
2. 論文標題 アッシリア帝国東部辺境を掘る イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト第3次(2018年)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 第26回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 109 ~ 113
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Karahashi, Fumi	4. 巻 -
2. 論文標題 Las mujeres en el period presargonico en Lagash: una vision de conjunto	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Las mujeres en el Oriente cuneiforme	6. 最初と最後の頁 267 ~ 291
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Karahashi, Fumi	4. 巻 -
2. 論文標題 Female Servants of Royal Household (ar3-tu munus) in the Presargonic Lagash Corpus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 What 's in a Name?: Terminology Related to the Work Force and Job Categories in the Ancient Near East	6. 最初と最後の頁 133 ~ 146
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 春田晴郎	4. 巻 -
2. 論文標題 田舎の史料から都市を眺める アウロマン文書を例に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究(研究領域提案型)平成30年度~34年度「都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」	6. 最初と最後の頁 93 ~ 96
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Sano	4. 巻 4
2. 論文標題 Die Etablierung der assyrischen Herrschaft in der Regierungszeit Salmanassars III.: Nochmalige Überlegungen zur Frage der Kontinuität des 9. Jahrhunderts v.Chr.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studia Mesopotamica	6. 最初と最後の頁 125 ~ 139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Mitsuma	4. 巻 -
2. 論文標題 The Unusual Babylonian Astronomical Diary -99C in Light of Late Babylonian and Syriac Astronomical and (Anti-)Astrological Texts	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 East-West Encounter in the Science of Heaven and Earth	6. 最初と最後の頁 3 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chikako E. Watanabe	4. 巻 -
2. 論文標題 Composite animals representing the property of thunder in Mesopotamia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Composite Artefacts in the Ancient Near East: Exhibiting an imaginative materiality, showing a genealogical nature	6. 最初と最後の頁 31 ~ 38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chikako E. Watanabe	4. 巻 -
2. 論文標題 Reading Ashurbanipal 's palace reliefs: methods of presenting visual narratives	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 I am Ashurbanipal: King of the World, King of Assyria	6. 最初と最後の頁 212 ~ 233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Laura Cousin and Yoko Watai	4. 巻 -
2. 論文標題 Onomastics and Gender Identity in First-Millennium BCE Babylonia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gender and Methodology in the Ancient Near East: Approaches from Assyriology and Beyond	6. 最初と最後の頁 243 ~ 255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Shimogama	4. 巻 -
2. 論文標題 The Japanese Excavations at Tell Ali al-Hajj, Rumeilah, on the Euphrates: Settlement, Material Culture and Chronology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the 10th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Volume 2: Excavation Reports & Summaries	6. 最初と最後の頁 627 ~ 638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Yamada	4. 巻 4
2. 論文標題 On qatatu in the MB Alalah; Texts	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studia Mesopotamica	6. 最初と最後の頁 219 ~ 230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田雅道	4. 巻 61
2. 論文標題 UET VII 41-42の新読解: hibil tuとginu;の理解を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 オリエント	6. 最初と最後の頁 27 ~ 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計78件（うち招待講演 15件 / うち国際学会 32件）

1. 発表者名 Yamada Shigeo
2. 発表標題 Dur-Sharrukin: A Reflection on its City Plan and Ideology
3. 学会等名 Conference: Urbanization in the Iron Age Levant and Beyond (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 古代メソポタミア都市の系譜と諸形態
3. 学会等名 シンポジウム「東は東、西は西？ 比較考古学の新視角」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamada Shigeo
2. 発表標題 Royal hunt and acquisition of wild beasts in Assyrian Royal Inscriptions
3. 学会等名 Rencontre Assyriologique Internationale 68 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shibata Daisuke
2. 発表標題 Assyrian princesses and political marriages during the late second millenium BCE
3. 学会等名 Femmes et diplomatie au Bronze Recent: Aegypte et Proche-Orient (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 古代メソポタミアの神殿と都市
3. 学会等名 新学術領域研究「西アジア都市」領域全体研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shibata Daisuke
2. 発表標題 Patron deities in Ancient Mesopotamian cities, Cities and Urbanization in West Asia and Egypt, - Shapes, Functions, and Ideology -
3. 学会等名 Cities and Urbanization in West Asia and Egypt, - Shapes, Functions, and Ideology - (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Fumi Karahashi、Agnes Garcia-Ventura
2. 発表標題 Coming out of the Assyriological Closet? Some Insights on Sex, Gender, and Sexual Identities of the Gala in Presargonic Lagash
3. 学会等名 The Fifth Workshop on Gender, Methodology and the Ancient Near East (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Haruta Seiro
2. 発表標題 Current Trends of the Studies of Pre-Islamic Iranian Histor
3. 学会等名 Online Conference of Iranian and Japanese Scholars for Iranian Studies (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 都市プランとイデオロギー：ドゥル・シャルキンの四角形都市プランの考察
3. 学会等名 日本オリエント学会63回大会 企画セッション2：アッシリアにおける中心と周縁の関係性：楔形文字学、考古学、図像学から
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 The Square-Shaped Assyrian Capital Dur-Sharrukin: Architectural Tradition and Ideological Basis
3. 学会等名 Society of Biblical Literature Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 古代メソポタミア都市の系譜
3. 学会等名 新学術領域研究「西アジア都市」全体研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 古代メソポタミアにおける都市と神殿
3. 学会等名 「西アジア都市」領域全体研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 新都カルフにおける神殿祭儀の創設
3. 学会等名 日本オリエント学会第63回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seiro Haruta
2. 発表標題 Erasing the Past: Re-engraved Bas-reliefs and Inscriptions during the Parthian Period
3. 学会等名 Online International Conference for the Iranian Archaeological Webinar, 2022 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 唐橋文
2. 発表標題 世界の諸地域、諸時代の文化についての学術情報 - 古代メソポタミア
3. 学会等名 中央大学人文科学研究所「グローバル文化史の試み」総括シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Timothy Hogue
2. 発表標題 From the Monumental to the Mundane: Power and Motivated Social Cognition in the Iron Age Levant,
3. 学会等名 American Schools of Overseas Research Virtual Annual Meeting 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤早苗
2. 発表標題 アッシリア王室書簡における使者
3. 学会等名 第63回日本オリエント学会年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐野克司
2. 発表標題 アッシリアにおけるエリート外国人の宮廷教育
3. 学会等名 日本オリエント学会第63回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuyuki Mitsuma
2. 発表標題 Disease, Famine, and Human Trafficking: Health and Social Crisis Recorded in the Late Babylonian Astronomical Diaries
3. 学会等名 67th Rencontre assyriologique internationale, Turin 2021 (webinar) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西山伸一・H. アブドゥッラー・山田重郎・沼本宏俊
2. 発表標題 アッシリア帝国東部辺境を掘る イラク・クルディスタン、ヤシン・テペ考古学プロジェクト・2021年度の成果
3. 学会等名 第29回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西山伸一
2. 発表標題 アッシリア東部辺境のエリート層埋葬と中央部の関係：ヤシン・テペ考古学の事例を中心に
3. 学会等名 日本オリエント学会・第63回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西山伸一
2. 発表標題 バスタブ型棺とアッシリア：エリート層埋葬形態の地域差に関する考察
3. 学会等名 日本西アジア考古学会・第26回総会・大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 ハナ王国の起源と暦
3. 学会等名 第63回シュメール研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 征服民のアッシリア帝国への帰属をめぐる一考察
3. 学会等名 日本オリエント学会第62回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 唐橋文
2. 発表標題 イナンナ/イシュタル女神と図像：間テキスト的な言及の可能性
3. 学会等名 第63回シュメール研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡井葉子
2. 発表標題 紀元前1千年紀バビロニアの都市民の家族における女性の役割
3. 学会等名 日本オリエント学会第62回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡井葉子
2. 発表標題 紀元前1千年紀バビロニアの都市民の家族における女性の役割
3. 学会等名 中央大学人文学研究所「歴史の中の個と共同体」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 春田晴郎
2. 発表標題 An Attempt to Decipher the Parthian Inscription on the Vologases' relief at Bisotun, Iran: With the Help of Retrospective Photogrammetry
3. 学会等名 Online International Conference for the Iranian Archaeological Webinar (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 春田晴郎
2. 発表標題 春田 晴郎 パルティア・サーサーン朝期イランおよび周辺地域の建築
3. 学会等名 第2回中東・オリエント建築研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三津間康幸
2. 発表標題 「バベルの塔」とバビロン遺跡
3. 学会等名 朝日カルチャーセンター横浜教室
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 ヤシン・テベ出土ネックレス碑文
3. 学会等名 第62回シュメール研究会、京都大学ユーラシア文化センター、京都
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 D. Shibata, S. Yamada
2. 発表標題 The Building Inscriptions of Assur-ketta-lesir II, "King of the Land of Mari," in the Late Middle Assyrian Period: Their Historical Implications
3. 学会等名 65e Rencontre Assyriologique Internationale, Collège de France, Paris (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 Names of Walls, Gates and Palatial Structures in Assyrian Royal Cities: Their Contents, Styles and Ideology
3. 学会等名 ASOR Meeting, Westin San Diego, USA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 'Like that of Assyrians': A reflection on the imposed Assyrian identity over the extended imperial territory
3. 学会等名 Workshop: The Neo-Assyrian King as a nodal point of Neo-Assyrian Identity, University of Helsinki, Finland (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 ヤシン・テベ出土ネックレス碑文 文書の詳細とその文献学的・歴史学的分析
3. 学会等名 研究会「アッシリアの属国と属州：テル・タバンの遺跡とヤシン・テベ遺跡の調査成果から」筑波大学文京校舎、文京区
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 前10-9世紀におけるアッシリアのシャフリゾール征服プロセス
3. 学会等名 研究会「文献学と考古学からみる上メソポタミアの諸問題」筑波大学東京キャンパス文京校舎
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 デヴィッド・ソフェル・コレクション所蔵テル・タバンの資料と前12・11世紀におけるアラム人・カルデア人問題
3. 学会等名 第62回シュメール研究会、京都大学大学院文学研究科附属コーラシア文化研究センター
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 D. Shibata and S. Yamada
2. 発表標題 The Building Inscriptions of Assur-ketta-lesir II, "King of the Land of Mari", in the Late Middle Assyrian Period: Their Historical Implications
3. 学会等名 65e Rencontre Assyriologique Internationale, Collège de France (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 テル・タバンの出土アッシュル・ケタ・レシル2世の記念碑文とその歴史的背景
3. 学会等名 研究会「アッシリアの属国と属州：テル・タバンの遺跡とヤシン・テペ遺跡の調査成果から」筑波大学東京キャンパス文京校舎
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fumi Karahashi
2. 発表標題 Women's Participation in Socio-Economic Activities in Presargonic Lagash: Masdaria-Gift-Givers
3. 学会等名 The Third Workshop on Gender, Methodology and the Ancient Near East, University of Gent, Belgium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fumi Karahashi
2. 発表標題 Verbs and Conjugation Prefixes in the ED Lagash-Girsu Texts
3. 学会等名 The First Meeting of the Copenhagen Sumerian Circle, Univ. of Copenhagen, Denmark (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fumi Karahashi
2. 発表標題 A Failed Attempt to Make a Parsed Corpus of Sumerian
3. 学会等名 Using Ancient Treebanks: Report and Dreams, Univ. of Helsinki, Finland (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seiro Haruta
2. 発表標題 Introductory Overview: What are 'Cities' in the Achaemenid, Parthian and Sasanian Periods?
3. 学会等名 International Workshop "Sasanian Cities" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seiro Haruta
2. 発表標題 Neo-Elamite, Middle Iranian and related inscriptions on metalware kept in Japan
3. 学会等名 9th European Conference of Iranian Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 春田 晴郎
2. 発表標題 サバーハ・コレクション銀器のエリュマイス銘文：パレオグラフィーと年代
3. 学会等名 第26回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoko Watai
2. 発表標題 Women involved in daily management in Acaemenid Babylonia: the cases of Re'indu and Andiya
3. 学会等名 Third Workshop on Gender, Methodology and the Ancient Near East (Gent, University of Gent) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoko Watai
2. 発表標題 The house of the Egibi family in Babylon and its relationship to royal power
3. 学会等名 65e Rencontre Assyriologie Internationale, Paris, Colleege de France (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuyuki Mitsuma
2. 発表標題 Citadel of Babylon under Greco-Macedonian and Iranian Rulers
3. 学会等名 Citadel of Babylon under Greco-Macedonian and Iranian Rulers
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三津間 康幸
2. 発表標題 楔形文字史料から見るオーロラ現象
3. 学会等名 日本天文学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三津間 康幸
2. 発表標題 古代西アジア都市の景観と構造
3. 学会等名 科研費新学術領域研究「都市文明の本質」第3回領域全体研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三津間 康幸
2. 発表標題 セレウコス朝およびアルシャク朝時代バビロンの都市構造：『バビロン天文日誌』の記述を中心に
3. 学会等名 科研費新学術領域研究「都市文明の本質」 A01-計画研究01・A02-計画研究02 第1回合同研究会「都市文明の本質を探る：西アジアとその周縁
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三津間 康幸
2. 発表標題 バビロン天文日誌の研究：現状と展望
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合（JpGU）2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Gina Konstantopoulos
2. 発表標題 'I Founded Therein a Palace of Cedar': Constructing and Manipulating Distant Lands in the Ancient Near East
3. 学会等名 University of California, Los Angeles (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Gina Konstantopoulos
2. 発表標題 The Gods of the West: Mesopotamian Deities and Demons in Levantine and Biblical Contexts
3. 学会等名 Ancient Religion Without Borders, University of California, Berkeley (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Gina Konstantopoulos
2. 発表標題 So Rigidly Organized a Realm: the Systematic Magic of Mesopotamian Exorcistic Incantations
3. 学会等名 Society of Ancient Mediterranean Religions, Society of Biblical Literature, San Diego (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Gina Konstantopoulos
2. 発表標題 The Raven, the Falcon, and the Dove: Birds and the Mesopotamian Exorcist
3. 学会等名 American Schools of Oriental Research, San Diego
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Gina Konstantopoulos
2. 発表標題 Within and Without: Assyrian and Babylonian Conceptions of the World and the City
3. 学会等名 Workshop: Ancient West Asian Cities, University of Tsukuba
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田雅道
2. 発表標題 エマル文書におけるalmattu-azibtu規定：新史料Fs0-T 2の検討
3. 学会等名 研究会「文献学・考古学からみる上メソポタミアの諸問題」、筑波大学東京キャンパス文京校舎
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田雅道
2. 発表標題 近刊のエマル文書2点について
3. 学会等名 第62回シュメール研究会、京都大学ユーラシア文化研究センター
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiyama, S.
2. 発表標題 A Neo-Assyrian Border City: Yasin Tepe Archaeological Project in Sulaymaniyah Governorate, Iraqi Kurdistan
3. 学会等名 ASOR Annual Meeting 2019 San Diego, CA
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西山伸一
2. 発表標題 考古学から見たヤシン・テペ：新アッシリア時代の拠点都市と属州支配
3. 学会等名 研究会：アッシリアの属国と属州：テル・タバンとヤシン・テペの調査成果から
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 アッシリアの王都における市壁、門、王宮の名称について
3. 学会等名 第61回シユメール研究会（立教大学12号館、東京都豊島区）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 Landscape of Tabatum as Seen in the Old Babylonian Letters from Tell Taban
3. 学会等名 64th Rencontre Assyriologique Internationale (University of Innsbruck, Austria) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 Topographical Terminology in Cuneiform Texts
3. 学会等名 Workshop: The Mesopotamian Landscape Archaeology: Recent Researches in Iraqi-Kursistan (Room 121, Tokyo Campus, University of Tsukuba, 文京区)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Daisuke Shibata
2. 発表標題 A Middle Assyrian Manuscript of a Therapeutic Treatise: "Prescriptions of Adapa"
3. 学会等名 64th Rencontre Assyriologique Internationale, (University of Innsbruck, Innsbruck) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 古代メソポタミアの王権：神々、王、知識人
3. 学会等名 日本オリエント学会第60回大会 / 第321回公開講演会（京都大学、京都市）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shin'ichi Nishiyama
2. 発表標題 Report on the Ceramics recovered from the Southern Beqaa Survey Project
3. 学会等名 IFPO & DGA Lebanon organized workshop "Ceramic Studies in the Bekaa Valley: A Regional Perspective" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西山伸一
2. 発表標題 西アジア鉄器時代集落の構造的考察 北メソポタミアおよびレヴァント地方における「都市」と「村落」クラス集落の比較から
3. 学会等名 日本オリエント学会第60回大会（京都大学、京都市）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 唐橋文
2. 発表標題 初期王朝時代ラガシュ・テキストにおける女性のマシュグリア奉獻者
3. 学会等名 第61回シュメール研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 春田晴郎
2. 発表標題 ハハーマニシュ朝ペルシア王碑文における州 (dahyu-) 再考
3. 学会等名 第61回シュメール研究会 (立教大学12号館、豊島区)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 春田晴郎
2. 発表標題 イランにおける「都市」を表わす語の変遷
3. 学会等名 日本オリエント学会第60回大会 (京都大学吉田キャンパス、京都市)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 春田晴郎
2. 発表標題 イスラーム以前イラン研究の最近の動向
3. 学会等名 第38回イラン研究会 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、東京都府中市)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐野克司
2. 発表標題 アッシリアの対外戦略における女性の役割
3. 学会等名 第61回シュメール研究会（立教大学12号館、東京都豊島区）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐野克司
2. 発表標題 アッシリアの大規模強制移住政策を再考する
3. 学会等名 日本オリエント学会第60回大会（京都大学吉田キャンパス、京都市）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chikako E. Watanabe and Jamie Novotny
2. 発表標題 The Different Types of Lions Represented in Ashurbanipal ' s Lion Hunt Reliefs
3. 学会等名 64th Rencontre Assyriologique Internationale (University of Innsbruck, Innsbruck) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chikako E. Watanabe
2. 発表標題 The ambivalent relationship between the king and the lion in Mesopotamia: the king as a fierce lion and a lion hunter
3. 学会等名 Fierce lions, angry mice and fat-tailed sheep: Animal encounters in the Ancient Near East (McDonald Institute for Archaeological Research, University of Cambridge, Cambridge) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Laura Cousin and Yoko Watai
2. 発表標題 Onomastics of Women in Babylonia
3. 学会等名 Onomastics Training Week (Ca' Foscari University of Venice, Venice) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 K. Shimogama
2. 発表標題 People and Graves Before Settlement: Pursuing Early Bronze Age Mobility at Rumeilah on the Middle Euphrates
3. 学会等名 11th International Congress on the Archaeology of Ancient Near East (Ludwig-Maximilians-Universität München, Munich) (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 Nicole Brisch, Fumi Karahashi	4. 発行年 2023年
2. 出版社 De Gruyter	5. 総ページ数 346
3. 書名 Women and Religion in the Ancient Near East and Asia	

1. 著者名 Daisuke Shibata, Shigeo Yamada	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Harrassowitz Verlag	5. 総ページ数 237
3. 書名 Calendars and Festivals in Mesopotamia in the Third and Second Millennia BC	

1. 著者名 Daisuke Shibata	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Harrassowitz Verlag	5. 総ページ数 436
3. 書名 Su'illa: Die sumerischen Handerhebungsgebete aus dem Repertoire des Klagesaengers, Heidelberger Emesal-Studien 3	

1. 著者名 H. Hama Abdullah, S. Nishiyama, and D. Mustafa Razawa	4. 発行年 2022年
2. 出版社 文化庁・中部大学	5. 総ページ数 35
3. 書名 The Slemani Museum: Guidebook (Second Edition)	

1. 著者名 Nishiyama Shin'ichi (ed.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Chubu University	5. 総ページ数 150
3. 書名 Archaeological Cultural Heritage of Yasin Tepe, Iraqi Kurdistan: Together with the related Techniques for Conservation and Recording of Cultural Heritage	

1. 著者名 Ichiro Nakata, Yoshihiro Nishiaki, Takahiro Odaka, Masamichi Yamada, Shigeo Yamada	4. 発行年 2019年
2. 出版社 The Society for Near Eastern Studies in Japan	5. 総ページ数 280
3. 書名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa	

1. 著者名 勝又悦子・柴田大輔・志田雅宏・高井啓介	4. 発行年 2020年
2. 出版社 リトン	5. 総ページ数 423
3. 書名 一神教世界の中のユダヤ教 市川裕先生献呈論文集	

1. 著者名 山田重郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 9
3. 書名 大城 道則編著 図説 古代文字入門	

1. 著者名 S. Nishiyama, H. Hama Abdullah, O. S. M. Amin	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Karo Printing	5. 総ページ数 35
3. 書名 The Slemani Museum: Guidebook, Sulaymaniyah	

〔産業財産権〕

〔その他〕

都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究
<https://rcwasia.hass.tsukuba.ac.jp/city/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	柴田 大輔 (Shibata Daisuke) (40553293)	筑波大学・人文社会系・教授 (12102)	
研究分担者	西山 伸一 (Nishiyama Shin'ichi) (50392551)	中部大学・人文学部・教授 (33910)	
研究分担者	池田 潤 (Ikeda Jun) (60288850)	筑波大学・人文社会系・教授 (12102)	
研究分担者	唐橋 文 (Karahashi Fumi) (80453679)	中央大学・文学部・教授 (32641)	
研究分担者	春田 晴郎 (Haruta Seiro) (90266354)	東海大学・文化社会学部・教授 (32644)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 The Mesopotamian Landscape Archaeology: Recent Researches in Iraqi-Kurdistan The Shape of Mesopotamian Cities: Archaeological and Philological Approaches (online)	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The Shape of Mesopotamian Cities: Archaeological and Philological Approaches (online)Displaying Nineveh (online)	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 Displaying Nineveh (online)	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 Cities and Urbanization in West Asia and Egypt	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 City, Palaces, and Clay Tablets	開催年 2024年～2024年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------